

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-112990

(43)公開日 平成5年(1993)5月7日

(51)Int.Cl.<sup>8</sup>

E 0 4 B 1/78

識別記号

片内整理番号

P 2118-2E

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数3(全 5 頁)

(21)出願番号 特願平3-274294

(22)出願日 平成3年(1991)10月22日

(71)出願人 000000941

錦畑化学工業株式会社

大阪府大阪市北区中之島3丁目2番4号

(72)発明者 ▲高▼橋 茂 信

東京都板橋区仲宿13-10

(72)発明者 石 井 正 夫

神奈川県川崎市宮前区野川71-1

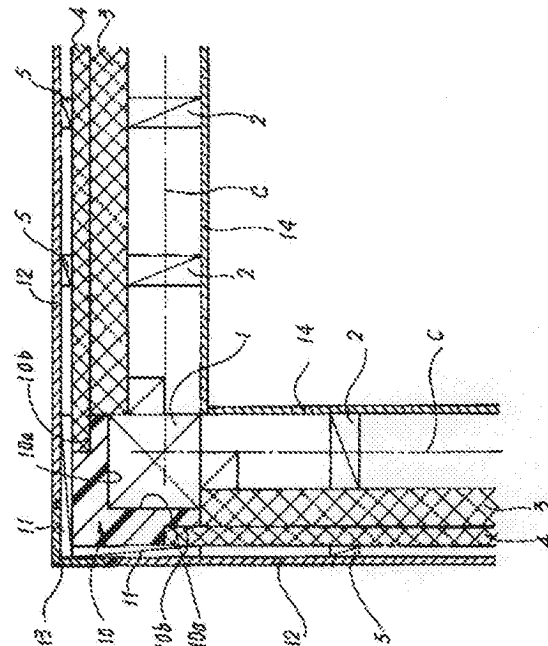
(74)代理人 弁理士 鈴木 俊一郎

(54)【発明の名称】 本造建築物、その施工方法、及び本造建築物のコーナー断熱材

(57)【要約】

【構成】 建築物の角部である出隅を規定する通し柱(1)と、隣位の通し柱との間に所定間隔毎に、複数の管柱・間柱(2)を配設し、これらの管柱・間柱(2)の外側に断熱材(3、4)を取付けてなる本造建築物において、出隅の通し柱(1)の角部外側に、この通し柱(1)の角部外側形状に対応し、且つ、前記断熱材(3、4)の端部に接触し得るように一体成形されたコーナー断熱材(10)を配設してなることを特徴としている。また、本発明は、これと同様である施工方法、並びに、コーナー断熱材(10)を発明の対象としている。

【効果】 壁部の断熱材の端部を通し柱の形状に対応して切り欠く必要がなく、作業性を向上でき、通し柱の外側部分に小中の寸法の断熱材を複数個切り出して取り付ける必要がないため、断熱材の施工を手間をかけずに極めて簡易に行うことができる。しかも、コーナー断熱材と、通し柱又は壁部の断熱材との密着性を高めることができ、出隅での断熱・気密性を従来に比べて一段と向上することができる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 建築物の角部である出隅を規定する通し柱(1)と、隣位の通し柱との間に所定間隔毎に、複数の管柱・間柱(2)を配設し、これらの管柱・間柱(2)の外側に断熱材(3、4)を取付けてなる木造建築物において、

前記出隅の通し柱(1)の角部外側に、この通し柱(1)の角部外側形状に対応し、且つ、前記断熱材(3、4)の端部に接触し得るように一体成形されたコーナー断熱材(10)を配設してなることを特徴とする木造建築物。

【請求項2】 建築物の角部である出隅を規定する通し柱(1)と、隣位の通し柱との間に所定間隔毎に、複数の管柱・間柱(2)を配設し、これらの管柱・間柱(2)の外側に断熱材(3、4)を取付け、前記出隅の通し柱(1)の角部外側に、この通し柱(1)の角部外側形状に対応し、且つ、前記断熱材(3、4)の端部に接触し得るように一体成形されたコーナー断熱材(10)を配設することを特徴とする木造建築物の施工方法。

【請求項3】 建築物の角部である出隅を規定する通し柱(1)と、隣位の通し柱との間に所定間隔毎に、複数の管柱・間柱(2)を配設し、これらの管柱・間柱(2)の外側に断熱材(3、4)を取付けてなる木造建築物に適用され、前記出隅の通し柱(1)の角部外側形状に対応し、且つ、前記断熱材(3、4)の端部に接触し得るように一体成形されたことを特徴とする木造建築物のコーナー断熱材。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の技術分野】本発明は、木造建築物において、この建物の角部である出隅廻りの断熱するためのコーナー断熱材に関し、詳しくは、この出隅の断熱性・気密性を高くすることができ、その施工も容易である、木造建築物、その施工方法、及び、コーナー断熱材に関する。

## 【0002】

【発明の技術的背景】木造建築物では、図3に示すように、通し柱1を設け、この通し柱1と、隣位の通し柱との間に所定間隔毎に、管柱・間柱2を配設している。この管柱・間柱2の外側には、比較的厚い第1の断熱材3と、比較的薄い第2の断熱材4とを縦断縁5などにより取付けている。

【0003】このような木造建築物では、通常、柱と柱との間の寸法が尺単位であり、尺の倍数となっている。この尺単位の基準は、図3に示すように、管柱・間柱2の中心線Cを基準として設定している。また、断熱材も通常尺モジュールであり、その幅寸法が尺単位でつくられている。

【0004】一方、このような木造建築物においては、

通し柱120×120(mm)であり管柱は105×105(mm)であり、通し柱1と、管柱2とは、15(mm)の段差が形成できている。そのため、建築物の出隅では、第1の断熱材3で符号6で示す部分は、この15(mm)の段差の分だけ通し柱1の形状に対応するように切り欠いて通し柱1に接触させる必要があり、この切り欠き作業が煩雑であり、従来、問題となっていた。

【0005】さらに、断熱材も通常尺モジュールであるため、図3に示すように、第1及び第2の断熱材3、4を取付けたとき、これらの端部は、通し柱1の外側をすべて覆うことができず、通し柱1の外側の部分は、サイズ不足となる。そのため、この通し柱1の外側部分には、符号7で示すように、この部分に合った小中の寸法の断熱材7を複数個切り出して取り付ける必要がある。そのため、この小中寸法の断熱材7を切り出す作業および取り付け作業が煩雑であり、従来、問題となっていた。さらに、この小中寸法の断熱材7を取り付けた部分では、断熱・気密を確実に行うことができないという問題点もあった。

【0006】又、通し柱1が105×105(mm)の場合においても段差の弊害はなくなるものの、通し柱1の外側をすべて覆うことができず上記同様の問題点があった。

## 【0007】

【発明の目的】この発明は、このような事情に鑑みてなされたものであって、出隅での断熱材の施工を手間をかけずに極めて簡易に行うことができると共に、出隅の気密性・断熱性を著しく高めた、木造建築物、その施工方法、及び、コーナー断熱材を提供することを目的とする。

30

## 【0008】

【発明の概要】この目的を達成するため、本発明に係る木造建築物は、建築物の角部である出隅を規定する通し柱(1)と、隣位の通し柱との間に所定間隔毎に、複数の管柱・間柱(2)を配設し、これらの管柱・間柱(2)の外側に断熱材(3、4)を取付けてなる木造建築物において、前記出隅の通し柱(1)の角部外側に、この通し柱(1)の角部外側形状に対応し、且つ、前記断熱材(3、4)の端部に接触し得るように一体成形されたコーナー断熱材(10)を配設してなることを特徴としている。

【0009】このように、本発明では、一体成形されたコーナー断熱材を、出隅の通し柱の角部外側に配設し、また、壁部を断熱する断熱材の端部に接触するように構成している。そのため、第1に、コーナー断熱材を通し柱の角部外側を被覆するように配設できるため、従来のように、壁部の断熱材の端部を通し柱の形状に対応して切り欠く必要がなく、作業性を向上できる。第2に、コーナー断熱材を一体成形してあるため、従来のように、通し柱の外側部分に小中の寸法の断熱材を複数個切り出

50

して貼り合わせる必要がないため、作業性が向上する。これらの点から出隅での断熱材の施工を手間をかけずに極めて簡易に行うことができる。

【0010】さらに、第3に、コーナー断熱材を一体成形してあるため、このコーナー断熱材と、通し柱又は壁部の断熱材との密着性を高めることができ、出隅での断熱・気密性を従来に比べて一段と向上することができる。

【0011】また、請求項2、3の本発明に係る、木造建築物の施工方法、及びコーナー断熱材も同様に構成し

【0012】

【発明の具体的説明】以下、図面を参照してこの発明の一実施例を具体的に説明する。図1は本発明の一実施例に係る木造建築物を水平に切断した断面図である。この木造建築物では、建築物の角部である出隅を規定する通し柱1を配設してある。この通し柱1と、図示しない隣位の通し柱との間に、所定間隔毎に複数の管柱・間柱2を配設してある。通し柱1の断面寸法は例えば120×120(mm)であり、管柱・間柱2の断面寸法は105×105(mm)である。この管柱・間柱2の外側に、比較

的厚い第1の断熱材3と、比較的薄い第2の断熱材4とが取付けてある。この第1及び第2の断熱材3、4の取付けに際しては、縦筋縁5を管柱・間柱2に対応する位置に配置し、縦筋縁5により第1及び第2の断熱材3、4を押え、この縦筋縁5に釘などを打ち込むことにより第1及び第2の断熱材3、4を取り付けている。この第1及び第2の断熱材3、4は、例えばポリスチレンフォーム、硬質ウレタンフォーム、グラスウールであり、その他の材質であってもよい。

【0013】さて、本実施例に係るコーナー断熱材10を通し柱1の角部外側に取付ける。このコーナー断熱材10は、略一定断面で例えば押出成形、型内成形及び切削加工により一体成形されており、例えば、ポリスチレンフォーム、硬質ウレタンフォーム、グラスウール等その他の材質から形成してある。このコーナー断熱材10は、図2にも示すように、通し柱1の角部外側面に接触する内側面10aを有している。この内側面10aの寸法は、通し柱1(120×120mm)と同様であって、120(mm)である。さらに、このコーナー断熱材10は、第2の断熱材4の端部の形状に対応して切り欠かれた切欠き部10bを有している。この切欠き部10bの寸法は、(中心線Cから通し柱1の端までの距離=52.5mm)×(第2の断熱材の厚み)である。

【0014】したがって、このコーナー材10に接触して取付けるに際しては、第1の断熱材3は、その端部を切り欠く必要があるが、従来のように、通し柱1の外側形状に対応して切り欠く必要がないため、この部分での施工作業性が改善される。また、第2の断熱材4に関しては、上記のように、コーナー断熱材10が、当初から

この断熱材4の端部に対応する切欠き部10bを有しているため、取付け作業としては、単に、コーナー断熱材10の切欠き部10bに第2の断熱材4を押し当てるだけでよい。作業性がよい。しかも、コーナー断熱材10を一体成形してあるため、従来のように、通し柱1の外側部分に小中の寸法の断熱材を複数個切り出して取り付ける必要がないため、作業性が向上する。以上から、出隅での断熱材の施工を手間をかけずに極めて簡易に行うことができる。

【0015】これに加えて、コーナー断熱材10を一体成形してあるため、このコーナー断熱材10と、通し柱1又は第1及び第2断熱材3、4との密着性を高めることができ、出隅での断熱・気密性を従来に比べて一段と向上することができる。

【0016】次いで、このコーナー断熱材10の外側に、縦筋縁11を取付ける。この縦筋縁11、及び、第2の断熱材4、縦筋縁5の外側に、外壁12が設けられる。外壁12は、図1に示すように、外壁板であってもよく、モルタル仕上げであってもよい。また図1に示すように、出隅の角部には、コーナー外壁部材13を設けてもよい。一方、管柱・間柱2の内側には、内壁板14が取付けられる。内壁板14は、種々のものでよく特に限定されない。

【0017】なお、本発明は、上述した実施例に限定されないもの勿論である。特に、コーナー部材の形状は、図示されたものに限定されず、要は、通し柱の形状に対応して形成されていると共に、壁部の断熱材に接触するように形成されていればよい。

【0018】

【発明の効果】以上述べたように、本発明では、一体成形されたコーナー断熱材を、出隅の通し柱の角部外側に配設し、また、壁部を断熱する断熱材の端部に接触するように構成している。そのため、第1に、コーナー断熱材を通し柱の角部外側を被覆するように配設できるため、従来のように、壁部の断熱材の端部を通し柱の形状に対応して切り欠く必要がなく、作業性を向上できる。第2に、コーナー断熱材を一体成形してあるため、従来のように、通し柱の外側部分に小中の寸法の断熱材を複数個切り出して取り付ける必要がないため、作業性が向上する。これらの点から出隅での断熱材の施工を手間をかけずに極めて簡易に行うことができる。

【0019】さらに、第3に、コーナー断熱材を一体成形してあるため、このコーナー断熱材と、通し柱又は壁部の断熱材との密着性を高めることができ、出隅での断熱・気密性を従来に比べて一段と向上することができる。

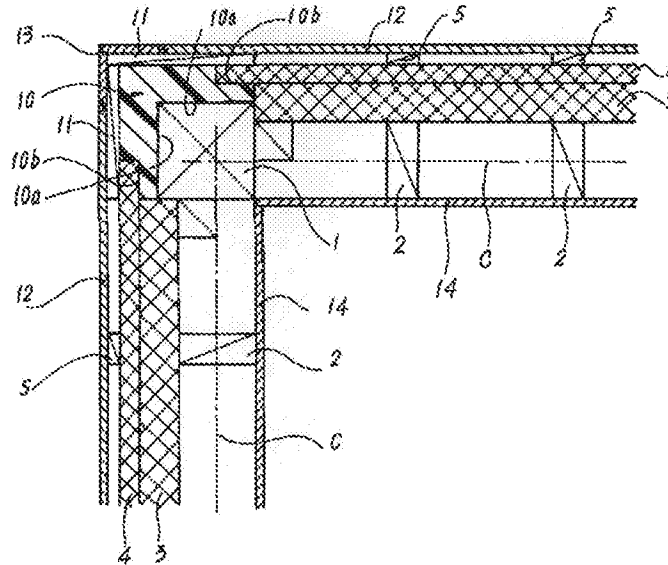
【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例に係る木造建築物を水平に切断した断面図である。

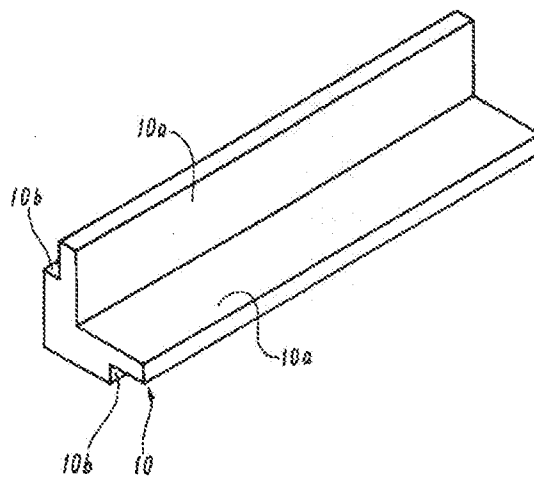
【図2】図1に示すコーナー断熱材の斜視図である。

- 5
- 【図3】従来の構造に係る木造建築物を水平に切断した  
断面図である。
- 【符号の説明】
- |   |     |    |         |
|---|-----|----|---------|
| 1 | 通し柱 | 2  | 管柱（間柱）  |
|   |     | 3  | 第1の断熱材  |
|   |     | 4  | 第2の断熱材  |
|   |     | 10 | コーナー断熱材 |
- 6

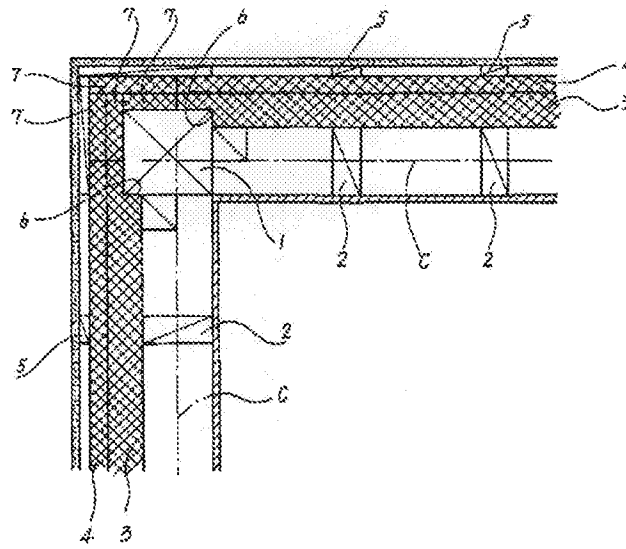
【図1】



【図2】



【図3】



**Disclaimer:**

This English translation is produced by machine translation and may contain errors. The JPO, the EPO, and those who drafted this document in the original language are not responsible for the result of this translation.

**Notes:**

1. Untranslatable words are replaced with asterisks ("\*\*\*").
2. Texts in the figures are not translated and shown as it is.

Translated: 03/03/12 JST 08/10/2009

Dictionary: Last updated 06/03/2009 / Priority: 1 Architecture/Civil engineering

## **CLAIM + DETAILED DESCRIPTION**

---

### **[Claim(s)]**

[Claim 1] In a timber building which allocates two or more jointed pillar and studs (2) for every prescribed interval between a continuous column (1) which specifies an external corner which is a corner of a building, and a continuous column like a next door, and attaches thermal insulation (3, 4) to the outside of these jointed pillars and studs (2), A timber building which allocates corner thermal insulation (10) by which integral moulding was carried out to the corner outside of a continuous column (1) of said external corner so that it might correspond to corner outside shape of this continuous column (1) and an end of said thermal insulation (3, 4) could be contacted, and is characterized by things.

[Claim 2] Between a continuous column (1) which specifies an external corner which is a corner of a building, and a continuous column like a next door. [ for every prescribed interval ] Allocate two or more jointed pillar and studs (2), and thermal insulation (3, 4) is attached to the outside of these jointed pillars and studs (2), An execution method of a timber building allocating corner thermal insulation (10) by which integral moulding was carried out to the corner outside of a continuous column (1) of said external corner so that it might correspond to corner outside shape of this continuous column (1) and an end of said thermal insulation (3, 4) could be contacted.

[Claim 3] Between a continuous column (1) which specifies an external corner which is a corner of a building, and a continuous column like a next door. [ for every prescribed interval ] Allocate two or more jointed pillar and studs (2), and it is applied to a timber building which attaches thermal insulation (3, 4) to the outside of these jointed pillars and studs (2), Corner thermal insulation of a timber building, wherein integral moulding is carried out so that it may correspond to corner outside shape of a continuous column (1) of said external corner and an end of said thermal insulation (3, 4) can be contacted.

---

### **[Detailed Description of the Invention]**

#### **[0001]**

[Field of the Invention] In a timber building, about corner thermal insulation for the circumference of the external corner which is a corner of this building to insulate, in detail, this invention can make high the insulation properties and the airtightness of this external corner, and relates to a timber building and its execution method also with that easy construction, and corner thermal insulation.

[0002]

[Background of the Invention]In the timber building, as shown in drawing 3, the continuous column 1 is formed and the jointed pillar and the stud 2 are allocated for every prescribed interval between this continuous column 1 and the continuous column like a next door. The 1st comparatively thick thermal insulation 3 and the 2nd comparatively thin thermal insulation 4 are attached to the outside of this jointed pillar and stud 2 by the vertical furring strips 5 etc.

[0003]In such a timber building, the size between pillars is \*\*\*\*\* and usually serves as a multiple of \*\*. The standard of this \*\*\*\*\* is set up on the basis of the center line C of a jointed pillar and the stud 2, as shown in drawing 3. Thermal insulation is also usually a \*\* module and the width dimension is built with \*\*\*\*\*.

[0004]On the other hand, in such a timber building, it is the continuous column 120x120 (mm), a jointed pillar is 105x105 (mm), and the level difference of 15 (mm) can be formed in the continuous column 1 and the jointed pillar 2. Therefore, in the external corner of the building, it is necessary to cut and to lack the portion shown with the numerals 6 with the 1st thermal insulation 3, and it needed to be contacted to the continuous column 1 so that only the part of this level difference of 15 (mm) might correspond to the shape of the continuous column 1, and this notching work is complicated and it had become a problem conventionally.

[0005]When the 1st and 2nd thermal insulation 3 and 4 is attached as shown in drawing 3 since thermal insulation is also usually a \*\* module, these ends cannot cover all the outsides of the continuous column 1, but the portion of the outside of the continuous column 1 becomes insufficient [ size ]. Therefore, as the numerals 7 show, it is necessary to cut down two or more thermal insulation 7 of Konaka's size suitable for this portion to the lateral part of this continuous column 1, and to attach it to it. Therefore, the work and attachment work which cut down the thermal insulation 7 of this Konaka size are complicated, and had become a problem conventionally. In the portion which attached the thermal insulation 7 of this Konaka size, there was also a problem that heat insulation and airtightness could not be performed certainly.

[0006]When the continuous column 1 was 105x105 (mm), the evil of the level difference could not cover all the outsides of the continuous column 1 of what is lost, but had the same problem as the above.

[0007]

[Objects of the Invention]This invention is made in view of such a situation, and an object of an invention is to be able to perform construction of the thermal insulation in an external corner very simply, without applying time and effort, and to provide the timber building and its execution method which improved remarkably the airtightness and the insulation properties of the external corner, and corner thermal insulation.

[0008]

[Summary of Invention]In order to attain this purpose, [ the timber building concerning this invention ] In the timber building which allocates two or more jointed pillar and studs (2) for every prescribed interval between the continuous column (1) which specifies the external corner which is a corner of a building, and the continuous column like a next door, and attaches thermal insulation (3, 4) to the outside of these jointed pillars and studs (2), The corner thermal insulation (10) by which integral moulding was carried out to the corner outside of the continuous column (1) of said external corner so that it might

correspond to the corner outside shape of this continuous column (1) and the end of said thermal insulation (3, 4) could be contacted is allocated, and it is characterized by things. [0009] Thus, it constitutes from this invention so that the end of the thermal insulation which allocates in the corner outside of the continuous column of an external corner the corner thermal insulation by which integral moulding was carried out, and insulates a wall may be contacted. Therefore, since corner thermal insulation can be allocated in the 1st so that the corner outside of a continuous column may be covered, it has corresponded to the shape of a continuous column, it is not necessary to lack the end of the thermal insulation of a wall, and workability can be improved like before. Since it is not necessary to cut down two or more thermal insulation of Konaka's size to the lateral part of a continuous column like before since integral moulding of the corner thermal insulation has been carried out, and it is not necessary to paste together to the 2nd, workability improves. Construction of the thermal insulation in an external corner can be performed very simply from these points, without applying time and effort.

[0010] Since integral moulding of the corner thermal insulation has been carried out to the 3rd, the adhesion of this corner thermal insulation and the thermal insulation of a continuous column or a wall can be improved, and the heat insulation and the airtightness in an external corner can be improved much more compared with the former.

[0011] The execution method of a timber building concerning Claim 2 and this invention of 3 and corner thermal insulation are constituted similarly.

[0012]

[Detailed Description of the Invention] Hereafter, with reference to Drawings, one embodiment of this invention is described concretely. Drawing 1 is the sectional view which cut horizontally the timber building concerning one embodiment of this invention. In this timber building, the continuous column 1 which specifies the external corner which is a corner of a building is allocated. Two or more jointed pillar and studs 2 are allocated for every prescribed interval between this continuous column 1 and the continuous column like the next door which does not illustrate. The cross section size of the continuous column 1 is 120x120 (mm), and the cross section size of a jointed pillar and the stud 2 is 105x105 (mm). The 1st comparatively thick thermal insulation 3 and the 2nd comparatively thin thermal insulation 4 are attached to the outside of this jointed pillar and stud 2. On the occasion of attachment of these 1st and 2nd thermal insulation 3 and 4, the vertical furring strips 5 have been arranged in the position corresponding to a jointed pillar and the stud 2, the 1st and 2nd thermal insulation 3 and 4 was pressed down by the vertical furring strips 5, and the 1st and 2nd thermal insulation 3 and 4 is attached by driving a nail etc. into these vertical furring strips 5. These 1st and 2nd thermal insulation 3 and 4 is polystyrene form, a rigid urethane foam, and glass wool, for example.

They may be the other quality of the materials.

[0013] Now, the corner thermal insulation 10 concerning this example is attached to the corner outside of the continuous column 1. Integral moulding of this corner thermal insulation 10 is carried out by extrusion molding, the fabrication in a model, and cutting in the approximately regulated cross section.

For example, it has formed from the quality of the material of others, such as polystyrene form, a rigid urethane foam, and glass wool.



This corner thermal insulation 10 has the internal surface 10a in contact with the corner lateral surface of the continuous column 1, as shown also in drawing 2. The size of this internal surface 10a is the same as that of the continuous column 1 (120x120 mm), and is 120 (mm). This corner thermal insulation 10 has the notch 10b which had corresponded to the shape of the end of the 2nd thermal insulation 4, and was lacked. The size of this notch 10b is x (distance from the center line C to the end of the continuous column 1 = 52.5 mm) (thickness of the 2nd thermal insulation).

[0014]Therefore, like before, although it faces contacting this corner material 10 and attaching and the 1st thermal insulation 3 needs to cut and lack that end, since it has corresponded to the outside shape of the continuous column 1 and it is not necessary to lack, the execution workability in this portion is improved. Since the corner thermal insulation 10 has the notch 10b corresponding to the end of this thermal insulation 4 from the beginning as mentioned above about the 2nd thermal insulation 4, [ as mounting work ] Workability is good only in order for what is necessary just to be to press the 2nd thermal insulation 4 against the notch 10b of the corner thermal insulation 10. And since it is not necessary to cut down two or more thermal insulation of Konaka's size to the lateral part of the continuous column 1 like before since integral moulding of the corner thermal insulation 10 has been carried out, and it is not necessary to attach, workability improves. As mentioned above, construction of the thermal insulation in an external corner can be performed very simply, without applying time and effort.

[0015]In addition, since integral moulding of the corner thermal insulation 10 has been carried out, the adhesion of this corner thermal insulation 10, and the continuous column 1 or the 1st and 2nd thermal insulation 3 and 4 can be improved, and the heat insulation and the airtightness in an external corner can be improved much more compared with the former.

[0016]Subsequently, the vertical furring strips 11 are attached to the outside of this corner thermal insulation 10. The outer wall 12 is formed in the outside of these vertical furring strips 11 and the 2nd thermal insulation 4, and the vertical furring strips 5. As shown in drawing 1, the outer wall 12 may be an exterior wall board, and may be mortar finishing. As shown in drawing 1, the corner exterior wall member 13 may be formed in the corner of an external corner. On the other hand, the interior wall board 14 is attached inside a jointed pillar and the stud 2. The interior wall boards 14 are various things, and are not limited especially well.

[0017]what is not limited to the embodiment which this invention mentioned above -- it is natural. The shape in particular of a corner member is not limited to what was illustrated, but in short, it is formed corresponding to the shape of a continuous column, and it should just be formed so that the thermal insulation of a wall may be contacted.

[0018]

[Effect of the Invention]As stated above, it constitutes from this invention so that the end of the thermal insulation which allocates in the corner outside of the continuous column of an external corner the corner thermal insulation by which integral moulding was carried out, and insulates a wall may be contacted. Therefore, since corner thermal insulation can be allocated in the 1st so that the corner outside of a continuous column may be covered, it has corresponded to the shape of a continuous column, it is not necessary to lack the end of the thermal insulation of a wall, and workability can be improved like before. Since it is not necessary to cut down two or more thermal

insulation of Konaka's size to the lateral part of a continuous column like before since integral moulding of the corner thermal insulation has been carried out, and it is not necessary to attach to the 2nd, workability improves. Construction of the thermal insulation in an external corner can be performed very simply from these points, without applying time and effort.

[0019] Since integral moulding of the corner thermal insulation has been carried out to the 3rd, the adhesion of this corner thermal insulation and the thermal insulation of a continuous column or a wall can be improved, and the heat insulation and the airtightness in an external corner can be improved much more compared with the former.

---

[Translation done.]

**PAT-NO:** JP405112990A

**DOCUMENT-IDENTIFIER:** JP 05112990 A

**TITLE:** WOODEN BUILDING, ITS CONSTRUCTION, &  
CORNER HEAT  
INSULATOR THEREFOR

**PUBN-DATE:** May 7, 1993

**INVENTOR-INFORMATION:**

**NAME**

TAKAHASHI, SHIGENOBU  
ISHII, MASAO

**ASSIGNEE-INFORMATION:**

**NAME**

**COUNTRY**

KANEGAFUCHI CHEM IND CO LTD

N/A

**APPL-NO:** JP03274294

**APPL-DATE:** October 22, 1991

**INT-CL (IPC):** E04B001/76

**US-CL-CURRENT:** 52/404.1

**ABSTRACT:**

**PURPOSE:** To simplify the construction of a wooden building as well as raise the air-tightness and heat insulation of outside corners by a method in which corner heat insulators matching the angular outside shape of a continuous column and touched by the end of wall heat insulators are provided on the outside of the outside corners of the column.

**CONSTITUTION:** Corner heat insulators 10 made of one-shot molding of polystyrene foam, matching the outside shape of a continuous column 1 and having a notch 10b matching the end of the second heat insulator 4 of the wall, are attached in contact with the first and second heat insulators 3 and 4 to the angular outside of the continuous column 1 regulating the outside corners of a building. The needs to cut the end of the heat insulators 3 and 4 of the wall into the shape of the column 1 can thus be eliminated, and the efficiency of operations can be raised. Also, since the needs to attach small and medium sizes of heat insulators can be eliminated, the heat insulator 10 can be simply constructed and the column 1 can also be closely connected with the heat insulators 3 and 4.

**COPYRIGHT: (C)1993,JPO&Japio**